

令和2年国勢調査 調査結果(人口等基本集計)の概要

1. 総人口と世帯総数 (表1・図1)

(1) 人口は530,495人

令和2年10月1日現在の姫路市の総人口は530,495人で、前回調査(平成27年10月1日現在)に比べ5,169人(1.0%)の減少となりました。

大正9年と比べると、この100年間で総人口は11.6倍(注1)になりました。平成22年まで人口増加を続けてきましたが、平成27年には初めて減少に転じました。

(2) 世帯数は224,106世帯

令和2年10月1日現在の世帯数は224,106世帯で、前回調査に比べ11,305世帯(5.3%)の増加となりました。

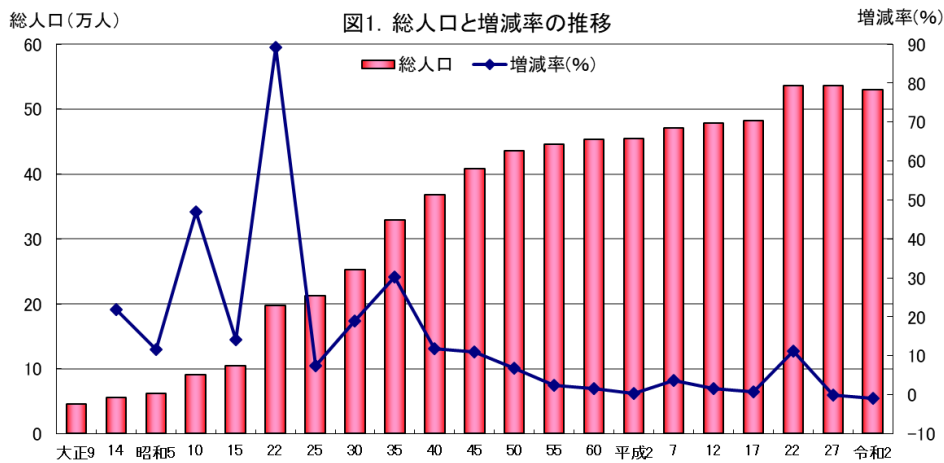


表1. 国勢調査による人口の推移

年次	世帯数	人口(人)			対前回国勢調査		人口性比	1世帯当たり人員	人口密度 1km ² 当たり
		総数	男	女	人口増減数	増減率(%)			
大正9年	9,535	45,750	23,306	22,444	—	—	103.8	4.80	6,461.9
14年	11,582	55,713	27,415	28,298	9,963	21.8	96.9	4.81	5,690.8
昭和5年	12,552	62,171	31,172	30,999	6,458	11.6	100.6	4.95	4,834.4
10年	18,210	91,375	44,125	47,250	29,204	47.0	93.4	5.02	2,549.5
15年	22,188	104,259	49,548	54,711	12,884	14.1	90.6	4.70	2,021.7
22年	44,687	197,299	96,402	100,897	93,040	89.2	95.5	4.42	1,844.3
25年	46,255	212,100	102,385	109,715	14,801	7.5	93.3	4.59	1,982.6
30年	54,586	252,315	124,092	128,223	40,215	19.0	96.8	4.62	1,680.8
35年	74,188	328,689	162,152	166,537	76,374	30.3	97.4	4.43	1,374.9
40年	90,098	367,807	180,343	187,464	39,118	11.9	96.2	4.08	1,538.6
45年	107,302	408,353	200,072	208,281	40,546	11.0	96.1	3.81	1,523.1
50年	120,619	436,086	213,641	222,445	27,733	6.8	96.0	3.62	1,624.6
55年	130,445	446,256	217,174	229,082	10,170	2.3	94.8	3.42	1,645.1
60年	135,618	452,917	219,540	233,377	6,661	1.5	94.1	3.34	1,666.9
平成2年	143,522	454,360	219,270	235,090	1,443	0.3	93.3	3.17	1,663.5
7年	158,818	470,986	227,240	243,746	16,626	3.7	93.2	2.97	1,719.1
12年	169,765	478,309	230,649	247,660	7,323	1.6	93.1	2.82	1,743.7
17年	178,987	482,304	232,553	249,751	3,995	0.8	93.1	2.69	1,747.5
22年	205,587	536,270	259,320	276,950	53,966	11.2	93.6	2.61	1,003.4
27年	212,801	535,664	258,724	276,940	△606	△0.1	93.4	2.52	1,002.2
令和2年	224,106	530,495	256,616	273,879	△5,169	△1.0	93.7	2.37	992.4
兵庫県	2,402,484	5,465,002	2,599,756	2,865,246	△69,798	△1.3	90.7	2.27	650.5
全国	55,830,154	126,146,099	61,349,581	64,796,518	△948,646	△0.7	94.7	2.26	338.2

(注1) 姫路市は何度か合併をしており、平成18年に家島町、夢前町、香寺町及び安富町と合併をしています。

2. 年齢（3区分）別人口（表2・図2）

老年人口（65歳以上）は144,535人で全体の27.2%

年少人口（0歳から14歳）は69,458人、生産年齢人口（15歳から64歳）は316,502人、老年人口（65歳以上）は144,535人となりました。

人口に占める割合を前回調査と比べると、年少人口の割合は13.1%で、0.9ポイント低下、生産年齢人口の割合は59.7%で、1.1ポイント低下、老年人口の割合は27.2%で、2.0ポイント上昇となっています。

図2. 年齢3区分別人口の割合の推移

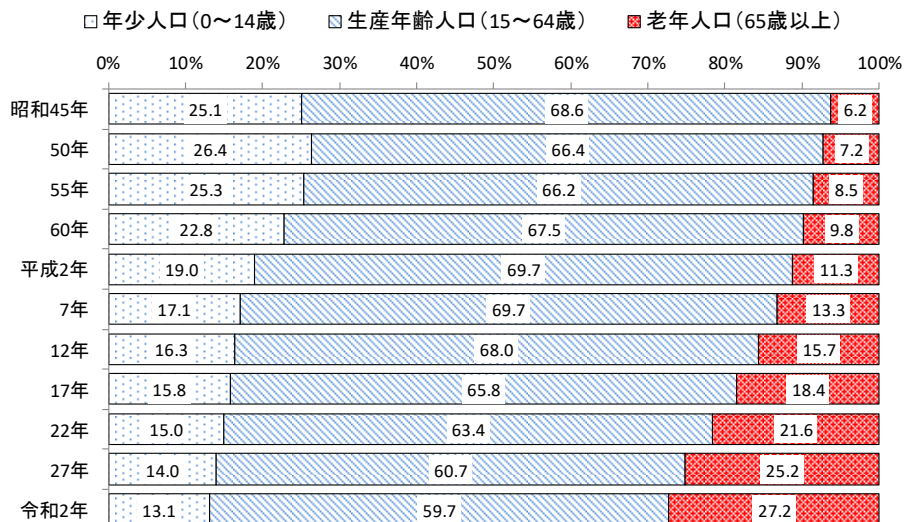


表2. 年齢(3区分)別人口と割合の推移

項目	年齢3区分別人口(人)				年齢3区分別人口の割合(%)		
	総数	年少人口 0~14歳	生産年齢人口 15~64歳	老年人口 65歳以上	年少人口 0~14歳	生産年齢人口 15~64歳	老年人口 65歳以上
昭和 45年	408,353	102,643	280,287	25,423	25.1	68.6	6.2
50年	436,086	115,050	289,731	31,245	26.4	66.4	7.2
55年	446,256	112,874	295,211	38,082	25.3	66.2	8.5
60年	452,917	103,088	305,629	44,184	22.8	67.5	9.8
平成 2年	454,360	86,231	316,349	51,192	19.0	69.7	11.3
7年	470,986	80,331	328,079	62,566	17.1	69.7	13.3
12年	478,309	78,081	325,135	75,082	16.3	68.0	15.7
17年	482,304	76,102	317,094	88,944	15.8	65.8	18.4
22年	536,270	80,093	338,884	115,703	15.0	63.4	21.6
27年	535,664	75,183	325,339	135,142	14.0	60.7	25.2
令和 2年	530,495	69,458	316,502	144,535	13.1	59.7	27.2

平成22年以前の総数には年齢不詳を含む。

平成22年以前の年齢3区分別の人口の割合は分母から年齢不詳を除いて算出。

平成27年及び令和2年は不詳補完値に基づいて算出。

3. 年齢（5歳階級）別人口と人口ピラミッド（表3・図3）

人口を年齢5歳階級別にみますと、男性、女性ともに人口が最も多いのは、45歳から49歳となっています。0～4歳の男女合計人口は、45～49歳の47.6%になります。

図3. 人口ピラミッド

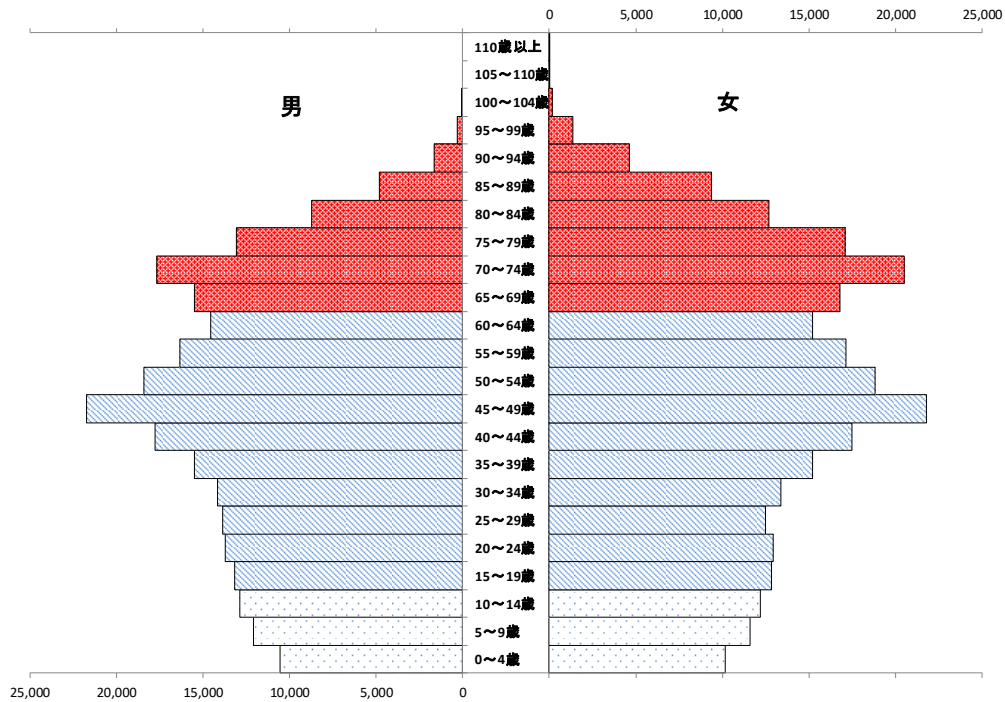


表3. 年齢5歳階級別人口

	総数(人)	男(人)	女(人)
0～4歳	20,738	10,574	10,164
5～9歳	23,681	12,097	11,584
10～14歳	25,039	12,860	12,179
15～19歳	26,007	13,190	12,817
20～24歳	26,648	13,731	12,917
25～29歳	26,366	13,859	12,507
30～34歳	27,529	14,163	13,366
35～39歳	30,713	15,520	15,193
40～44歳	35,268	17,761	17,507
45～49歳	43,532	21,736	21,796
50～54歳	37,222	18,404	18,818
55～59歳	33,463	16,326	17,137
60～64歳	29,754	14,556	15,198
65～69歳	32,341	15,525	16,816
70～74歳	38,154	17,659	20,495
75～79歳	30,181	13,094	17,087
80～84歳	21,414	8,727	12,687
85～89歳	14,207	4,835	9,372
90～94歳	6,282	1,644	4,638
95～99歳	1,712	328	1,384
100～104歳	224	27	197
105～110歳	19	-	19
110歳以上	1	-	1
合計	530,495	256,616	273,879

不詳補完値に基づく。

4. 配偶関係

(1) 男女別配偶関係別の割合 (表 4)

姫路市の 15 歳以上人口の男女別配偶関係をみると、男性の未婚者は 72,319 人 (未婚の割合 32.7 %)、有配偶者は 129,530 人 (有配偶の割合 58.6 %)、死別者は 7,512 人 (死別の割合 3.4 %)、離別者は 11,724 人 (離別の割合 5.3 %) です。また、女性の未婚者は 55,103 人 (未婚の割合 23.0%)、有配偶者は 129,755 人 (有配偶の割合 54.1 %)、死別者は 35,618 人 (死別の割合 14.8 %)、離別者は 19,476 人 (離別の割合 8.1 %) です。

男性と女性を比べると、未婚の割合は男性が 9.7 ポイント高く、有配偶の割合は、男性が 4.5 ポイント高く、死別の割合は女性が 11.4 ポイント高く、離別の割合は女性が 2.8 ポイント高くなっています。

表4. 男女別配偶関係の割合の推移

年次	男				女				
	未婚	有配偶	死別	離別	未婚	有配偶	死別	離別	
人口 (人)									
平成	12年	549,898	123,371	4,839	4,316	47,272	123,225	26,789	9,736
	17年	58,106	121,843	5,340	5,257	46,947	122,098	28,569	12,582
	22年	64,865	134,559	6,573	6,844	52,288	134,788	32,471	15,012
	27年	68,926	133,846	6,938	10,454	54,744	133,872	34,468	17,233
令和	2年	72,319	129,530	7,512	11,724	55,103	129,755	35,618	19,476
兵庫県		721,894	1,352,134	78,047	106,163	619,499	1,375,004	373,214	172,536
全国		18,544,172	30,798,417	1,794,993	2,511,963	14,245,904	31,018,047	8,271,878	3,929,123
割合 (%)									
平成	12年	29.2	65.5	2.6	2.8	22.8	59.5	12.9	4.7
	17年	29.5	64.1	2.8	3.6	22.3	58.1	13.6	6.0
	22年	30.2	62.7	3.1	4.0	22.3	57.5	13.8	6.4
	27年	31.3	60.8	3.2	4.7	22.8	55.7	14.3	7.2
令和	2年	32.7	58.6	3.4	5.3	23.0	54.1	14.8	8.1
兵庫県		32.0	59.9	3.5	4.7	24.4	54.1	14.7	6.8
全国		34.6	57.4	3.3	4.7	24.8	54.0	14.4	6.8

平成22年以前の割合は分母から不詳を除いて算出。
平成27年及び令和2年は不詳補完値に基づいて算出。

(2) 年齢(5歳階級)別配偶関係(表5)

配偶関係別の割合を年齢(5歳階級)別に見ると、男性、女性ともに30～34歳で「有配偶」が「未婚」を上回ります。

65歳以上では、「有配偶」の割合が男性77.2%、女性49.4%となる一方、「死別」の割合は男性10.9%、女性39.8%となっており、男女の配偶関係別の割合の差が大きくなっています。

表5. 年齢(5歳階級)別・配偶関係別人口と割合(15歳以上)

	男性					女性				
	総数	未婚	有配偶	死別	離別	総数	未婚	有配偶	死別	離別
	人口(人)									
15～19歳	13,190	13,148	37	2	3	12,817	12,766	45	1	5
20～24歳	13,731	12,875	805	1	50	12,917	11,654	1,126	7	130
25～29歳	13,859	9,965	3,747	1	146	12,507	7,394	4,728	4	381
30～34歳	14,163	6,764	7,071	5	323	13,366	4,299	8,228	16	823
35～39歳	15,520	5,545	9,376	16	583	15,193	3,423	10,587	32	1,151
40～44歳	17,761	5,336	11,471	28	926	17,507	3,202	12,463	98	1,744
45～49歳	21,736	5,660	14,509	84	1,483	21,796	3,607	15,230	246	2,713
50～54歳	18,404	4,262	12,391	115	1,636	18,818	2,629	13,049	419	2,721
55～59歳	16,326	2,875	11,600	223	1,628	17,137	1,802	12,319	678	2,338
60～64歳	14,556	2,105	10,794	317	1,340	15,198	1,076	11,156	1,183	1,783
65歳以上	61,839	3,784	47,729	6,720	3,606	82,696	3,251	40,824	32,934	5,687
	割合(%)									
15～19歳	100	99.7	0.3	0.0	0.0	100	99.6	0.4	0.0	0.0
20～24歳	100	93.8	5.9	0.0	0.4	100	90.2	8.7	0.1	1.0
25～29歳	100	71.9	27.0	0.0	1.1	100	59.1	37.8	0.0	3.0
30～34歳	100	47.8	49.9	0.0	2.3	100	32.2	61.6	0.1	6.2
35～39歳	100	35.7	60.4	0.1	3.8	100	22.5	69.7	0.2	7.6
40～44歳	100	30.0	64.6	0.2	5.2	100	18.3	71.2	0.6	10.0
45～49歳	100	26.0	66.8	0.4	6.8	100	16.5	69.9	1.1	12.4
50～54歳	100	23.2	67.3	0.6	8.9	100	14.0	69.3	2.2	14.5
55～59歳	100	17.6	71.1	1.4	10.0	100	10.5	71.9	4.0	13.6
60～64歳	100	14.5	74.2	2.2	9.2	100	7.1	73.4	7.8	11.7
65歳以上	100	6.1	77.2	10.9	5.8	100	3.9	49.4	39.8	6.9

不詳補完値に基づく。

(3) 年齢(5歳階級)別未婚の割合の推移(表6・図4～5)

25～39歳の未婚の割合を5歳階級別にみると、前回調査と比較して、全ての階級で未婚の割合は上昇しています。

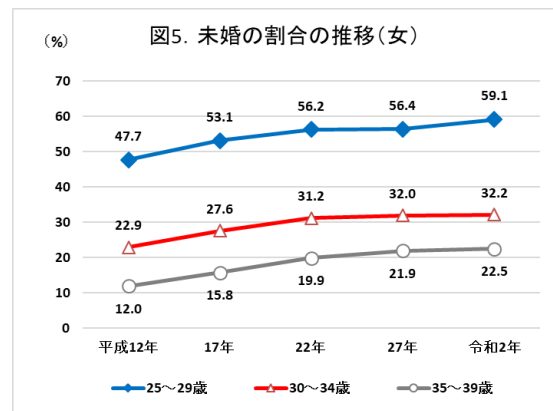
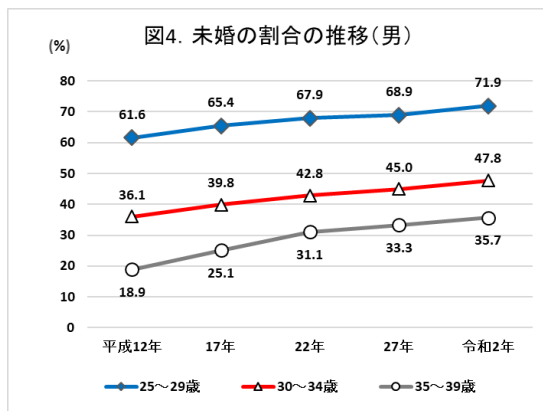


表6. 男女別、年齢(5歳階級)別未婚率の推移

年齢(5歳階級)	男					女				
	平成12年	17年	22年	27年	令和2年	平成12年	17年	22年	27年	令和2年
25～29歳	61.6	65.4	67.9	68.9	71.9	47.7	53.1	56.2	56.4	59.1
30～34歳	36.1	39.8	42.8	45.0	47.8	22.9	27.6	31.2	32.0	32.2
35～39歳	18.9	25.1	31.1	33.3	35.7	12.0	15.8	19.9	21.9	22.5

平成27年及び令和2年は不詳補完値に基づく。

5. 世帯の家族類型 (表7・図6)

一般世帯を「親族のみの世帯」、「非親族を含む世帯」及び「単独世帯」の3つに区分してみると、親族のみの世帯は146,444世帯(一般世帯に占める割合65.5%)、非親族を含む世帯は1,646世帯(同0.7%)、単独世帯は75,447世帯(同33.8%)となっています。

親族のみの世帯を「核家族世帯」と「核家族以外の世帯」の2つに区分してみると、核家族世帯は130,520世帯(同58.4%)、核家族以外の世帯は15,846世帯(同7.1%)となっています。

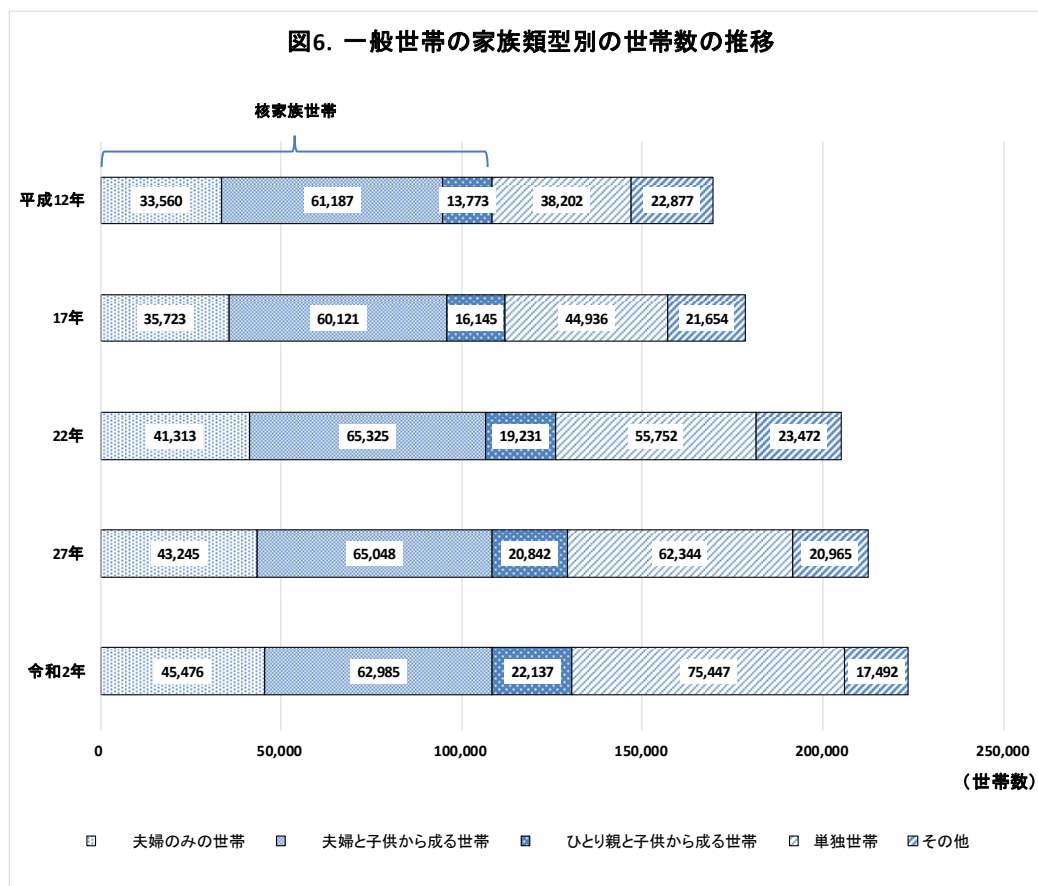
単独世帯を前回調査と比べると、世帯数は13,103世帯(21.0%)増加し、一般世帯に占める割合は4.4ポイント上昇しました。

核家族世帯を前回調査と比べると、1,463世帯(1.1%)増加しましたが、割合は2.4ポイント低下しました。

表7. 世帯の家族類型別一般世帯の推移

世帯の家族類型	一般世帯数					割合(%)				
	平成12年	17年	22年	27年	令和2年	平成12年	17年	22年	27年	令和2年
総数	169,599	178,579	205,357	212,541	223,793	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
親族のみの世帯	130,784	132,774	147,819	148,528	146,444	77.1	74.4	72.1	69.9	65.5
核家族世帯	108,520	111,989	125,869	129,135	130,598	64.0	62.7	61.4	60.8	58.4
夫婦のみの世帯	33,560	35,723	41,313	43,245	45,476	19.8	20.0	20.1	20.4	20.3
夫婦と子供から成る世帯	61,187	60,121	65,325	65,048	62,985	36.1	33.7	31.9	30.6	28.2
ひとり親と子供から成る世帯	13,773	16,145	19,231	20,842	22,137	8.1	9.0	9.4	9.8	9.9
核家族以外の世帯	22,264	20,785	21,950	19,393	15,846	13.1	11.6	10.7	9.1	7.1
非親族を含む世帯	613	869	1,522	1,572	1,646	0.4	0.5	0.7	0.7	0.7
単独世帯	38,202	44,936	55,752	62,344	75,447	22.5	25.2	27.2	29.3	33.8

総数は「世帯の家類型「不詳」を含むため、内訳の合計とは一致しない。
割合は不詳を除いて算出。



6. 65歳以上の世帯員がいる世帯（表8・図7）

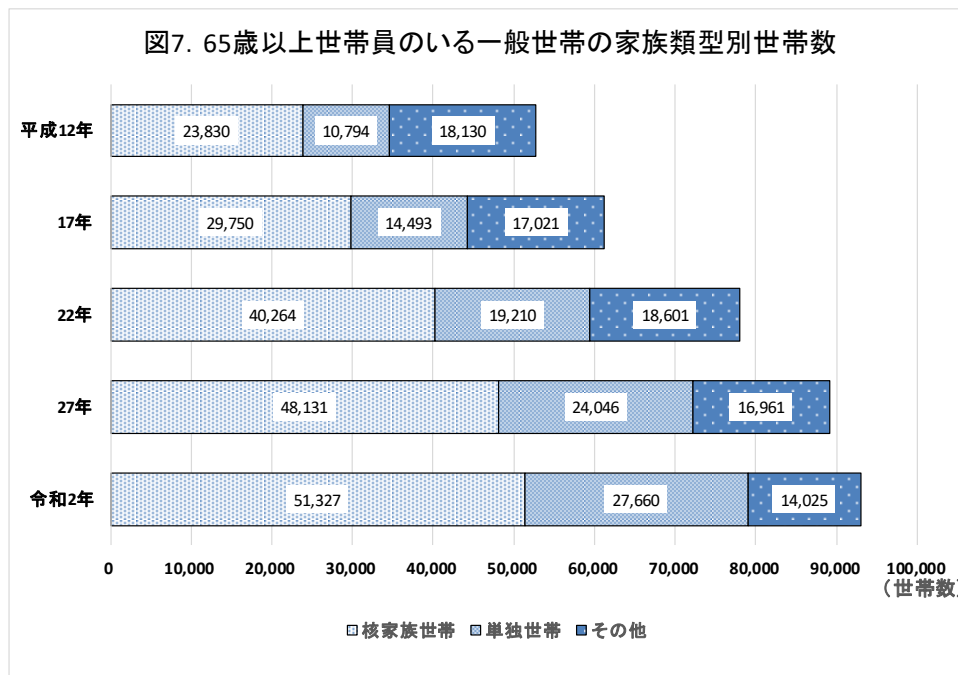
65歳以上の世帯員がいる一般世帯は93,012世帯で、前回調査と比べると、3,874世帯（4.3%）増加しました。これを家族類型でみると、親族のみの世帯が64,923世帯（65歳以上の世帯員がいる一般世帯に占める割合69.8%）、非親族を含む世帯が429世帯（同0.5%）、単独世帯が27,660世帯（同29.7%）です。親族のみの世帯のうち、核家族世帯は51,327世帯（同55.2%）です。

単独世帯を前回調査と比べると、3,614世帯（15.0%）増加し、65歳以上の世帯員がいる一般世帯に占める割合は、2.8ポイント上昇しました。

核家族世帯を前回調査と比べると、3,196世帯（6.6%）増加し、割合は1.2ポイント上昇しました。

表8. 世帯の家族類型別65歳以上世帯員がいる一般世帯数の推移

世帯の家族類型	一般世帯数					割合(%)				
	平成12年	17年	22年	27年	令和2年	平成12年	17年	22年	27年	令和2年
総数	52,754	61,264	78,075	89,138	93,012	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
親族のみの世帯	41,872	46,640	58,451	64,627	64,923	79.4	76.1	74.9	72.5	69.8
核家族世帯	23,830	29,750	40,264	48,131	51,327	45.2	48.6	51.6	54.0	55.2
夫婦のみの世帯	14,505	17,558	22,860	26,509	28,058	27.5	28.7	29.3	29.7	30.2
夫婦と子供から成る世帯	4,933	6,671	9,847	12,180	12,445	9.4	10.9	12.6	13.7	13.4
ひとり親と子供から成る世帯	4,392	5,521	7,557	9,442	10,824	8.3	9.0	9.7	10.6	11.6
核家族以外の世帯	18,042	16,890	18,187	16,496	13,596	34.2	27.6	23.3	18.5	14.6
非親族を含む世帯	88	131	414	465	429	0.2	0.2	0.5	0.5	0.5
単独世帯	10,794	14,493	19,210	24,046	27,660	20.5	23.7	24.6	27.0	29.7



7. 住居の状況

(1) 住宅の所有関係 (表9・図8)

住宅に住む一般世帯は220,665世帯で、前回調査と比べると、12,084世帯(5.8%)増加しました。これを住宅の所有関係で見ると、持ち家は143,421世帯(住宅に住む一般世帯に占める割合65.0%)、借家は69,700世帯(同31.6%)、給与住宅は6,049世帯(同2.7%)、間借りは1,495世帯(同0.7%)です。

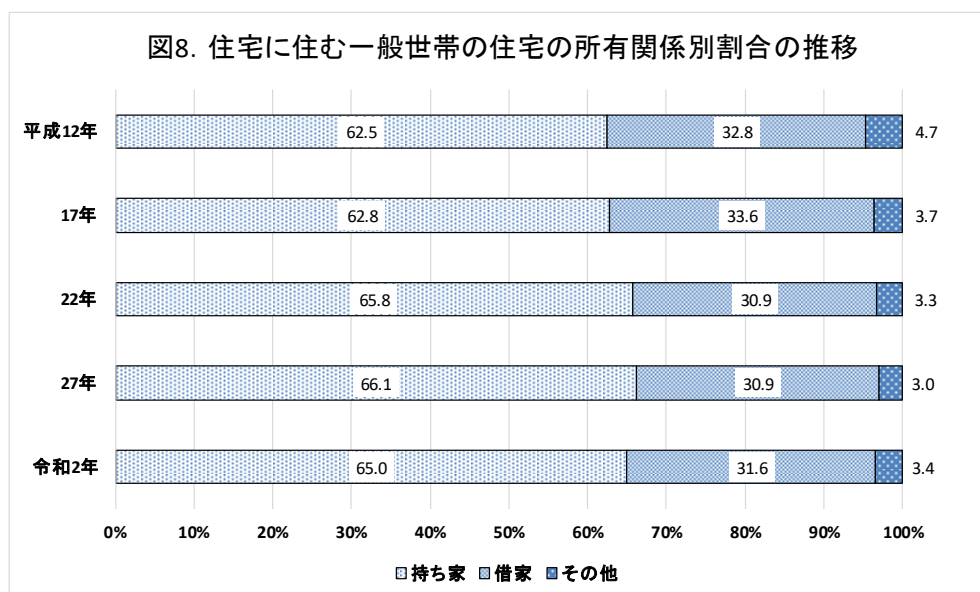
持ち家を前回調査と比べると、5,493世帯(4.0%)増加し、住宅に住む一般世帯に占める割合は1.1ポイント減少しました。

借家を前回調査と比べると、5,211世帯(8.1%)増加し、割合は0.7ポイント上昇しました。

表9. 住宅の所有の関係別住宅に住む一般世帯数

	総数	主世帯						間借り
		持ち家	借家			給与住宅		
			公営・都市再生機構・公社の借家	民営の借家				
実数(世帯)								
平成12年	165,827	164,438	103,666	54,376	11,366	43,010	6,396	1,389
17年	175,694	174,513	110,300	58,960	11,288	47,672	5,253	1,181
22年	202,013	200,331	132,934	62,442	10,899	51,543	4,955	1,682
27年	208,581	207,215	137,928	64,489	9,898	54,591	4,798	1,366
令和2年	220,665	219,170	143,421	69,700	8,496	61,204	6,049	1,495
兵庫県	2,356,218	2,334,916	1,527,472	749,560	160,004	589,556	57,884	21,302
全国	54,953,523	54,261,580	33,729,416	18,980,467	2,649,041	16,331,426	1,551,697	691,943
割合(%)								
平成12年	100.0	99.2	62.5	32.8	6.9	25.9	3.9	0.8
17年	100.0	99.3	62.8	33.6	6.4	27.1	3.0	0.7
22年	100.0	99.2	65.8	30.9	5.4	25.5	2.5	0.8
27年	100.0	99.3	66.1	30.9	4.7	26.2	2.3	0.7
令和2年	100.0	99.3	65.0	31.6	3.9	27.7	2.7	0.7
兵庫県	100.0	99.1	64.8	31.8	6.8	25.0	2.5	0.9
全国	100.0	98.7	61.4	34.5	4.8	29.7	2.8	1.3

図8. 住宅に住む一般世帯の住宅の所有関係別割合の推移



(2) 住宅の建て方 (表 10・図 9)

住宅に住む一般世帯を住宅の建て方別にみると、一戸建ては 134,835 世帯 (住宅に住む一般世帯に占める割合 61.1%)、長屋建は 3,796 世帯 (同 1.7%)、共同住宅は 81,814 世帯 (同 37.1%) です。

一戸建てを前回調査と比べると、4,508 世帯 (3.5%) 増加しましたが、住宅に住む一般世帯に占める割合は 1.4 ポイント低下しました。

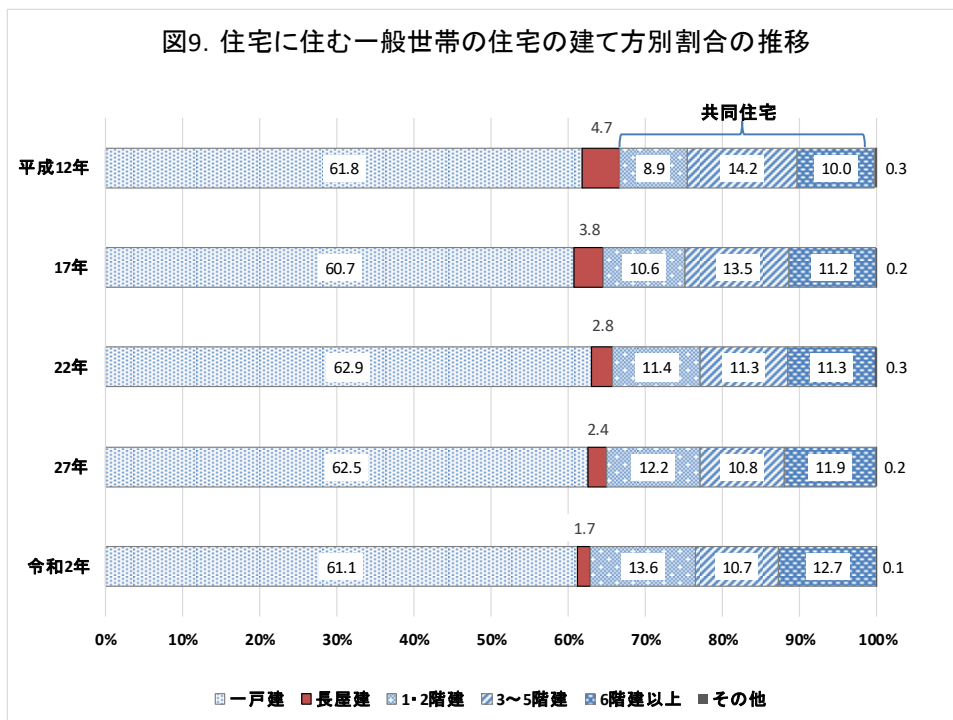
長屋建を前回調査と比べると、1,297 世帯 (25.5%) 減少し、割合は 0.7 ポイント低下しました。

共同住宅を前回調査と比べると、9,049 世帯 (12.4%) 増加し、割合は 2.2 ポイント上昇しました。

表10. 住宅の建て方別住宅に住む一般世帯数と割合の推移

	総数	一戸建	長屋建	共同住宅			その他	
				建物全体の階数				
				1・2階建	3～5階建	6階建以上		
実数(世帯数)								
平成12年	154,544	102,525	7,813	54,921	14,720	23,621	16,580	568
17年	175,694	106,715	6,601	62,091	18,675	23,727	19,689	287
22年	202,013	127,125	5,654	68,715	22,947	22,920	22,848	513
27年	208,581	130,327	5,093	72,765	25,428	22,612	24,725	396
令和2年	220,665	134,835	3,796	81,814	30,074	23,674	28,066	220
兵庫県	2,356,218	1,183,738	38,361	1,131,775	179,543	430,631	521,601	2,344
全国	54,953,523	29,561,373	839,309	24,493,087	6,682,933	9,028,169	8,781,985	59,754
割合(%)								
平成12年	100.0	61.8	4.7	33.1	8.9	14.2	10.0	0.3
17年	100.0	60.7	3.8	35.3	10.6	13.5	11.2	0.2
22年	100.0	62.9	2.8	34.0	11.4	11.3	11.3	0.3
27年	100.0	62.5	2.4	34.9	12.2	10.8	11.9	0.2
令和2年	100.0	61.1	1.7	37.1	13.6	10.7	12.7	0.1
兵庫県	100.0	50.2	1.6	48.0	7.6	18.3	22.1	0.1
全国	100.0	53.8	1.5	44.6	12.2	16.4	16.0	0.1

図9. 住宅に住む一般世帯の住宅の建て方別割合の推移



8. 外国人（表 11・図 10）

（1）国籍別男女別外国人の数

外国人総数は 10,045 人で、前回調査に比べると、1,203 人（13.6%）増加しました。人口性比は 90.1 で姫路市全体（国籍総数）より 3.6 ポイント低くなりました。

国籍別で見ると、韓国、朝鮮が 4,111 人（外国人に占める割合 40.9%）ともっとも多く、次に多いのがベトナム 3,117 人（同 31.0%）、その次に多いのが中国 1,270 人（同 12.6%）となっています。

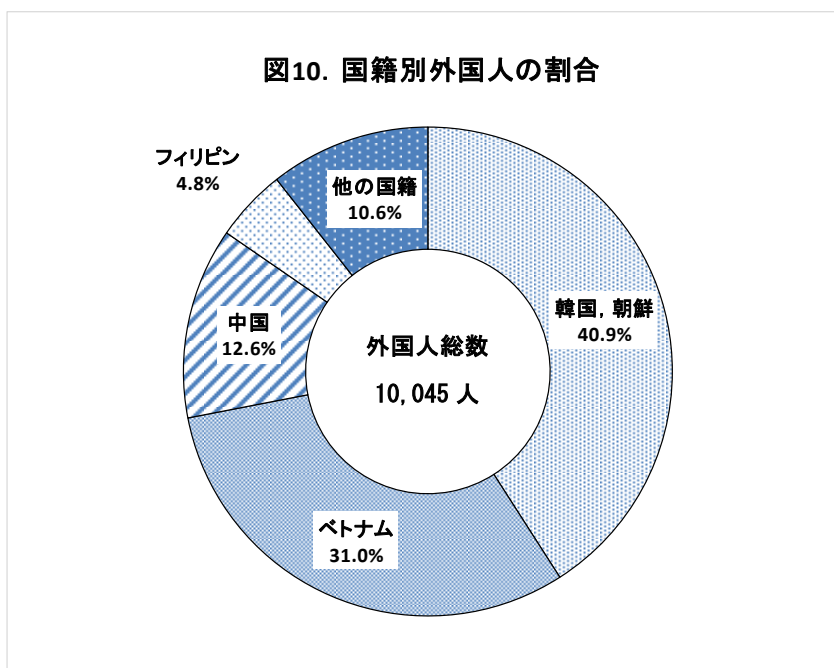
表11. 国籍別・男女別外国人数

国籍	令和2年					平成27年	対前回
	総数	構成比(%)	男	女	人口性比	総数	増減率(%)
総数(国籍)	10,045	100.0	4,761	5,284	90.1	8,842	13.6
韓国, 朝鮮	4,111	40.9	1,890	2,221	85.1	4,315	△ 4.7
ベトナム	3,117	31.0	1,685	1,432	117.7	1,752	77.9
中国	1,270	12.6	488	782	62.4	1,223	3.8
フィリピン	481	4.8	72	409	17.6	297	62.0
インドネシア	157	1.6	116	41	282.9	62	153.2
ネパール	100	1.0	68	32	212.5	-	-
ブラジル	79	0.8	40	39	102.6	101	△ 21.8
アメリカ	78	0.8	52	26	200.0	69	13.0
タイ	70	0.7	35	35	100.0	37	89.2
ペルー	70	0.7	36	34	105.9	50	40.0
インド	18	0.2	14	4	350.0	2	800.0
イギリス	12	0.1	8	4	200.0	7	71.4
その他 ※	482	4.8	189	193	97.9	927	-

※無国籍及び国籍不詳を含む

平成27年の「その他」はネパールを含む。

図10. 国籍別外国人の割合



(2) 国籍別年齢（3区分）別外国人の数（表12）

外国人を年齢（3区分）別の人口の割合で見ると、15歳未満9.7%、15～64歳人口74.7%、65歳以上は15.5%となっており、姫路市全体（国籍総数）と比較すると、外国人は15歳未満人口では3.4ポイント低く、15～64歳人口では15.1ポイント高く、65歳以上人口では11.7ポイント低くなっています。

国籍別に人口の多い順に年齢（3区分）別人口の割合を姫路市全体と比較すると、最も人口が多い韓国・朝鮮は、15歳未満人口で6.8ポイント低く、15～64歳人口で1.8ポイント高く、65歳以上人口で5.0ポイント高くなっています。

次に人口が多いベトナムは、15歳未満人口で2.8ポイント高く、15～64歳人口で22.7ポイント高く、65歳以上人口で25.6ポイント低くなっています。

その次に人口が多い中国は、15歳未満人口で3.9ポイント低く、15～64歳人口で26.1ポイント高く、65歳以上人口で22.1ポイント低くなっています。

表12. 国籍別外国人の年齢(3区分)別の割合

国籍	割合(%)		
	15歳未満	15～64歳	65歳以上
総数(国籍)	9.7	74.7	15.5
韓国, 朝鮮	6.3	61.5	32.3
ベトナム	15.9	82.4	1.7
中国	9.2	85.7	5.1
フィリピン	8.3	90.8	0.8
インドネシア	1.3	94.2	4.5
ネパール	6.2	93.8	0.0
ブラジル	11.4	82.3	6.3
アメリカ	6.4	73.1	20.5
タイ	1.5	98.5	0.0
ペルー	11.4	84.3	4.3
インド	5.6	94.4	0.0
イギリス	16.7	83.3	0.0
その他	7.2	77.9	14.9

割合は年齢「不詳」を除いて算出。